

## 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 2025 年度学校評価について

標記の件について、関係法令等に基づき次のとおり実施し、評価結果をホームページにて公表する。

### 記

#### 1 学校評価の目的

- (1) 学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- (2) 学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- (3) 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

#### 2 学校評価に関する規定

##### (1) 学校教育法

第 42 条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

※幼稚園、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等にもそれぞれ準用。

##### (2) 学校教育法施行規則

第 66 条 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

第 67 条 小学校は、前条第一項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

第 68 条 小学校は、第 66 条第 1 項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

※幼稚園、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等にもそれぞれ準用。

##### (3) 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校学校評価実施規定

##### (4) 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校学校評価実施要領

#### 3 実施時期 生徒・保護者へのアンケート

2025 年 12 月 10 日（月）～12 月 23 日（火）

生徒に対しては 12 月 10 日の LHR を予定。

#### 4 評価の種類

##### (1) 自己評価

学校の教職員が行う評価であり、本校教職員全員により実施する。

2025年12月10日（月）～12月23日（火）

##### (2) 学校関係者評価

保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価であり、本校PTA、教育振興会、同窓会等の関係団体及び本校関係者から評価委員を選考して実施する。

2026年2月20日（金）

##### (3) 第三者評価

学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、自己評価や学校関係者評価の実施状況も踏まえつつ、教育活動その他の学校運営の状況について専門的視点から行う評価。

2026年3月3日（火）

2025年度 学校評価（自己評価） 全日制 常勤教員

No.	内容	設問（選択肢A:十分できた B:おおむねできた C:やや不十分だった D:不十分だった）	回答数	人数				%			
				A	B	C	D	A	B	C	D
1	建学の精神	朝のお祈りや、礼拝をとおして、三愛主義を深めることができたか。	44	20	21	3	0	45%	48%	7%	0%
2	建学の精神	三愛主義の実践として、社会貢献活動に取り組んだり、参加することができたか。	44	12	21	9	2	27%	48%	20%	5%
3	スクールミッション	スクールミッションである「喜び」と「幸せ」を提供できる人間の育成のもと、生徒の新たな価値を発見し、可能性を引き出すことができたか。	44	11	26	7	0	25%	59%	16%	0%
4	教務・学習	D3ゾーンの生徒ゼロを目指し、基礎学力の向上、学び直しの支援、主体的に学ぶ姿勢の養成を図ることができたか。	44	6	19	16	3	14%	43%	36%	7%
5	教務・学習	評価規準をもとに、明確な評価方法で適切な学習評価をし、観点別学習状況の評価を円滑に実施できたか。	44	15	25	4	0	34%	57%	9%	0%
6	教務・学習	ベネッセハイスクールオンライン、コンパス、生徒意識調査、アンケート等の結果を分析し、学習指導、学級経営に活かしたか。	44	2	24	13	5	5%	55%	30%	11%
7	教務・学習	授業担当者は担任と、担任は授業担当者と、日ごろから情報交換し、生徒の学力向上に繋がったか。	44	11	27	4	2	25%	61%	9%	5%
8	教務・業務	出欠登録、試験作成・返却・成績処理等において、ミスや遅延の減少に努め、円滑に処理することができたか。	44	12	22	10	0	27%	50%	23%	0%
9	教務・業務	生徒の学力や興味関心などの実態を踏まえた教材研究を十分に行い、ICTの活用や工夫した教科指導を実践したか。	44	9	23	11	1	20%	52%	25%	2%
10	教務・業務	研修等参加により、ステップアップのための研鑽を図ることができたか。	44	5	18	17	4	11%	41%	39%	9%
11	教務・生徒・コース	校内における転コース・転専攻・転籍等の制度を把握し、生徒の相談に応じたり、保護者等と密に連携をとることができたか。	44	9	25	8	2	20%	57%	18%	5%
12	生徒指導	身だしなみや、言葉遣い、マナー、情報モラル等について生徒自身に考えさせる指導を展開できたか。	44	7	33	3	1	16%	75%	7%	2%
13	教務・生徒	怠けに繋がるような、安易な遅刻、早退、欠席、授業中抜けなどに、適切に注意・指導ができたか。	44	15	28	0	1	34%	64%	0%	2%
14	生徒指導	教員間の意思統一の下、公正性、公平性をもって指導できたか。	44	10	24	8	2	23%	55%	18%	5%
15	生徒指導	悩みや課題を抱えた生徒に対し、相談室や関係分掌との報告・連絡・相談をし、問題解決に繋がったか。	44	12	29	3	0	27%	66%	7%	0%
16	生徒指導	生徒の人権尊重と、多様性に対応し、不適切な指導（ハラスメント、威圧的指導、体罰等）の予防に努めたか。	44	18	22	3	1	41%	50%	7%	2%
17	生徒指導	いじめ防止基本方針を読み、いじめ予防といじめへの適切な対処により、生徒の安全・安心を確保できたか。	44	12	29	3	0	27%	66%	7%	0%
18	コース	各コースの特色を鮮明化し、魅力に転嫁して生徒の満足度増に活かすことができたか。	44	8	28	7	1	18%	64%	16%	2%
19	コース	コースが掲げる目標に応じたコース行事やプログラムを立案・実行したか。	44	10	27	5	2	23%	61%	11%	5%
20	進路	生徒の進路に関して教職員間との連携、情報共有、意見交換を積極的に行なったか。	44	10	31	1	2	23%	70%	2%	5%
21	進路	生徒の質問や相談に適切に対応し、キャリア教育を踏まえた進路指導を行うことができたか。	44	9	31	3	1	20%	70%	7%	2%
22	高大	内部進学全日100名、通信制20名の目標実現のため、酪農学園大学の魅力を伝えたり、酪農学園大進学率向上を推進できたか。	44	6	21	16	1	14%	48%	36%	2%
23	高大	酪農学園大学 農食環境学群との共同研究や、高大一体授業を推進したり、内容を把握したりしていたか。	44	5	20	14	5	11%	45%	32%	11%
24	入試	入学者確保に向けて、教職員が一丸となって広報・生徒募集活動を主体的に取り組めたか。	44	7	24	9	4	16%	55%	20%	9%
25	入試	学校見学会・説明会・入試相談会等の参加者増に向けて、丁寧な対応や、細かな準備に努めたか。	44	20	22	2	0	45%	50%	5%	0%
26	グローバル	グローバル教育を推進し、国際交流など生徒に取り組みさせるアプローチができたか。	44	4	9	18	13	9%	20%	41%	30%
27	総務	PTA、保護者等の協力体制を確立したり、日ごろから電話連絡や情報共有を行い、教育活動にご理解を得られるよう努めたか。	44	9	27	6	2	20%	61%	14%	5%
28	総務	教職員間で連携・協力し、式典や行事をスムーズに運営できたか。	44	11	29	3	1	25%	66%	7%	2%
29	総務	教職員間で保健室の利用状況や生徒情報、保護者情報の共有が図ることができたか。	44	8	24	9	3	18%	55%	20%	7%
30	総務	教職員間で各寮と連携、情報共有し、寮生への対応を進めることができたか。	44	5	27	9	3	11%	61%	20%	7%
31	総務	教室や設備の安全点検・確認や、清掃の徹底など、清潔な教育環境を作ることができたか。	44	12	29	3	0	27%	66%	7%	0%
32	運営・労務	危機管理マニュアルを再確認し、形骸化防止と意識の向上を図り、適切に対処することができたか。	44	5	27	11	1	11%	61%	25%	2%
33	運営・労務	働き方改革に対応した、業務の効率化を推進したり、実践することができたか。	44	5	20	10	9	11%	45%	23%	20%
34	運営・労務	経費の節減や業務の効率化を考え、支出の抑制を図ることができたか。	44	9	31	3	1	20%	70%	7%	2%
35	運営・労務	部活動休養日を設定し、活動時間を考え、学習とのバランスがとれた生活や、心身の成長に配慮することができたか。	44	15	21	5	3	34%	48%	11%	7%
36	運営・労務	教職員としてハラスメント防止に努め、法令・モラルを守り、適切なあいさつ、言葉遣い（メールやサイボウズ含）、身だしなみで業務を遂行したか。	44	15	26	1	2	34%	59%	2%	5%
37	運営・労務	就業規則、各種届出、提出書類、事前の出張伺い、復命、起案、出勤打刻等のルールを守り、円滑な業務遂行に努めたか。	44	9	28	4	3	20%	64%	9%	7%
38	運営・労務	自ら使用するシステム(Classi, C4th, Campus plan, スクールDB, web財務など各部署による)の機能を把握し、使いこなしたか。	44	9	28	7	0	20%	64%	16%	0%
39	運営・労務	事故や問題が発生したときに、各部署と情報共有・連携をとり、最後まで責任をもって対応したか。	44	15	28	0	1	34%	64%	0%	2%
40	運営・労務	言われた仕事・自分の仕事だけ終始するのではなく、「協同」を大切にして主体的に業務を遂行したか。	44	12	24	8	0	27%	55%	18%	0%

2025年度 学校評価（自己評価） 事務職

No.	内容	設問（選択肢A:十分できた B:おおむねできた C:やや不十分だった D:不十分だった）	回答数	人数				%			
				A	B	C	D	A	B	C	D
1	建学の精神	朝のお祈りや、礼拝をとおして、三愛主義を深めることができたか。	13	3	7	2	1	23%	54%	15%	8%
2	建学の精神	三愛主義の実践として、社会貢献活動に取り組んだり、参加することができたか。	13	3	2	7	1	23%	15%	54%	8%
3	教務・業務	研修等参加により、ステップアップのための研鑽を図ることができたか。	13	1	6	5	1	8%	46%	38%	8%
4	生徒指導	生徒の人権尊重と、多様性に対応し、不適切な対応（ハラスメント、威圧的対応、体罰等）の予防に努めたか。	13	6	7	0	0	46%	54%	0%	0%
5	高大	学校法人酪農学園の職員として、高校だけでなく、法人や大学の取り組みの把握に努めたか。	13	4	7	2	0	31%	54%	15%	0%
6	入試	入学者確保に向けて、教職員が一丸となって広報・生徒募集活動を主体的に取り組めたか。	13	3	10	0	0	23%	77%	0%	0%
7	入試	学校見学会・説明会・入試相談会等の参加者増に向けて、丁寧な対応や、細かな準備に努めたか。	13	6	7	0	0	46%	54%	0%	0%
8	総務	PTA、保護者等の協力体制を確立したり、日ごろから電話連絡や情報共有を行い、教育活動にご理解を得られるよう努めたか。	13	3	9	1	0	23%	69%	8%	0%
9	総務	教職員間で連携・協力し、式典や行事をスムーズに運営できたか。	13	3	9	1	0	23%	69%	8%	0%
10	総務	教職員間で保健室の利用状況や生徒情報、保護者情報の共有が図ることができたか。	13	1	9	3	0	8%	69%	23%	0%
11	総務	教職員間で各寮と連携、情報共有し、寮生への対応を進めることができたか。	13	2	6	5	0	15%	46%	38%	0%
12	総務	教室や設備の安全点検・確認や、清掃の徹底など、清潔な教育環境を作ることができたか。	13	1	10	2	0	8%	77%	15%	0%
13	運営・労務	危機管理マニュアルを再確認し、形骸化防止と意識の向上を図り、適切に対処することができたか。	13	2	8	3	0	15%	62%	23%	0%
14	運営・労務	働き方改革に対応した、業務の効率化を推進したり、実践することができたか。	13	1	9	3	0	8%	69%	23%	0%
15	運営・労務	経費の節減や業務の効率化を考え、支出の抑制を図ることができたか。	13	1	10	2	0	8%	77%	15%	0%
16	運営・労務	教職員としてハラスメント防止に努め、法令・モラルを守り、適切なあいさつ、言葉遣い（メールやサイボウズ含）、身だしなみで業務を遂行したか。	13	6	7	0	0	46%	54%	0%	0%
17	運営・労務	就業規則、各種届出、提出書類、事前の出張伺い、復命、起案、出勤打刻等のルールを守り、円滑な業務遂行に努めたか。	13	5	7	1	0	38%	54%	8%	0%
18	運営・労務	自ら使用するシステム(Classi, C4th, Campus plan, スクールDB, web財務など各部署による)の機能を把握し、使いこなしたか。	13	1	9	2	1	8%	69%	15%	8%
19	運営・労務	事故や問題が発生したときに、各部署と情報共有・連携をとり、最後まで責任をもって対応したか。	13	4	8	1	0	31%	62%	8%	0%
20	運営・労務	言われた仕事・自分の仕事だけ終始するのではなく、「協同」を大切にして主体的に業務を遂行したか。	13	4	7	2	0	31%	54%	15%	0%

2025年度 学校評価にかかわる、生徒向けアンケート（全学年）

No.	内容	設問（個別に選択肢のない項目は、A:十分できた B:おおむねできた C:ややできなかった D:不十分だった）	回答数	人数					%					
				A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
1	建学の精神	礼拝や、聖書の授業を通して、三愛主義を深めることができましたか。	801	387	383	23	8		48%	48%	3%	1%		
2	建学の精神	三愛主義の実践として、ボランティア等の社会貢献活動に取り組んだり、参加することができましたか。	799	257	263	171	108		32%	33%	21%	13%		
3	宗教	他者を尊重し、「共に生きる」姿勢や「隣人愛」を考え、仲間と生活することができましたか。	800	435	339	22	4		54%	42%	3%	0%		
4	スカーパッション	4月からここまで、「喜び」と「幸せ」を感じながら、成長することができましたか。	798	433	332	26	7		54%	41%	3%	1%		
5	学習	基礎学力の向上や、日々の授業を大切に学習しましたか。	800	368	362	65	5		46%	45%	8%	1%		
6	学習	本校の学習評価の方法・仕組みについて理解していますか。	800	373	382	39	6		47%	48%	5%	1%		
7	学習	授業開始時間前に道具を準備し、トイレ中抜けをすることもなく、学習に取り組みましたか。	800	539	212	41	8		67%	26%	5%	1%		
8	学習	Chromebookを有効活用して学習に参加しましたか。	798	579	197	16	6		72%	25%	2%	1%		
9	学習	Classi, Google classroom での連絡や、学習、課題提出は円滑にできましたか。	796	448	280	57	11		56%	35%	7%	1%		
10	学習	家庭学習はどのくらい取り組みましたか。 A:毎日 B:週に2~3日 C:テスト前~テスト期間 D:家ではやらない	800	83	97	552	68		10%	12%	69%	8%		
11	学習	授業の進度はほどよく、内容を理解できましたか。	798	265	451	70	12		33%	56%	9%	1%		
14	生活	正しい身だしなみやマナー、言葉遣い、情報モラルを身につけ、生活できましたか。	795	470	301	22	2		59%	38%	3%	0%		
15	生活	身の回り(机上やロッカー等)の整理整頓など、環境整備に努めましたか。	800	496	259	38	7		62%	32%	5%	1%		
16	生活	交通安全や薬物乱用防止、SNSの講演会を通して、規範意識を高めることができましたか。	796	592	199	4	1		74%	25%	0%	0%		
17	生活	学校祭・球技大会などの学校行事に積極的に参加しましたか。	799	550	215	29	5		69%	27%	4%	1%		
18	生活	学校生活での質問や悩み、困り事などを、面談や休み時間・放課後の時間を使って先生と話すことができましたか。	797	354	336	77	30		44%	42%	10%	4%		
19	コース	各コースの授業内容や取り組みについて、理解していましたか。	799	480	283	30	6		60%	35%	4%	1%		
20	コース	自分が所属するコースの授業内容や取り組みについて、理解していましたか。	798	516	265	17	0		64%	33%	2%	0%		
21	コース	自分が所属するコースの特別授業や、コース行事に積極的に参加しましたか。	798	515	262	20	1		64%	33%	2%	0%		
22	進路	進路について、資料を活用し、目標達成のために努力できましたか。	799	338	363	85	13		42%	45%	11%	2%		
23	進路	進路に関する相談を、担任の先生や関係する先生と話し合うことができましたか。	800	358	348	75	19		45%	43%	9%	2%		
24	進路	酪農学園大学の進学を考えたり、調べたりしましたか。	797	151	188	167	291		19%	23%	21%	36%		
25	進路	酪農学園大学の施設内容や、学類ごとの教育内容を理解していますか。	800	135	262	187	216		17%	33%	23%	27%		
26	入試	後輩やお友達に、本校を薦めたことがありますか。 A:たくさんある B:すこしある C:そのような機会がなかった D:薦めたくない	799	109	246	378	66		14%	31%	47%	8%		
27	入試	学校見学会準備(清掃など)や、部活動体験、アシスタント業務など積極的に行いましたか。	800	317	292	111	80		40%	36%	14%	10%		
28	グローバル	国際交流の案内などを通して、世界に目を向けることや、活動に取り組みましたか。	796	156	257	211	172		19%	32%	26%	21%		
29	安全衛生	家では保護者等のかたと、学校のことを話したりできましたか。	798	431	281	61	25		54%	35%	8%	3%		
30	安全衛生	どのような時に保健室を利用しましたか。 A:けが・体調不良 B:健康相談 C:トイレ証明 D:利用していない	798	313	11	159	315		39%	1%	20%	39%		
31	安全衛生	火災など災害時の避難方法や、授業を行うにあたって危険な点を理解していましたか。 A:十分理解していた B:おおむね理解していた C:あまり理解してなかった D:全く理解してなかった	795	412	351	25	7		51%	44%	3%	1%		
32	安全衛生	学校の施設は、学習を行う上で、健康・安全上、適切な状況にありましたか。 A:とても適切 B:おおむね適切 C:やや不足 D:とても不足	797	425	338	28	6		53%	42%	3%	1%		
33	HR	HRは学校生活の中心としてよりどころになっていましたか。 A:十分になっていた B:おおむねなっていた C:ややなっていた D:とてもなっていない	798	339	380	58	21		42%	47%	7%	3%		
34	HR	HRにおいて担任の先生の指導は丁寧に行われていましたか。 A:十分丁寧だった B:おおむね丁寧だった C:やや丁寧ではなかった D:全く丁寧ではなかった	798	521	251	22	4		65%	31%	3%	0%		
35	全体	4月からここまでの満足度はどれですか。 A:十分満足 B:おおむね満足 C:やや不満 D:とても不満	798	352	382	50	14		44%	48%	6%	2%		
36	スクールバス利用者限定	スクールバス利用生への質問です。スクールバスは安全に運行され、運転手さんの対応は丁寧でしたか。 A:十分よかった B:おおむねよかった C:やや悪かった D:とても悪かった	179	116	51	8	4		65%	28%	4%	2%		
37	部活動限定	部活生への質問です(3年生はすでに引退者も含む)。部活動においてあなたの満足度はどれですか。 A:十分満足 B:おおむね満足 C:やや不満 D:とても不満	574	284	214	59	17		49%	37%	10%	3%		
38	部活生限定	部活生への質問です(3年生はすでに引退者も含む)。部活動において一番どれが当てはまりますか。 A:熱心な指導を受けることができた B:成長することができた C:大切な仲間を得た D:入らなければよかった E:その他	554	103	266	173	12	23		18%	46%	30%	2%	4%
39	寮生限定	寮生への質問です。寮生活においてあなたの満足度はどれですか。 A:十分満足 B:おおむね満足 C:やや不満 D:とても不満	187	61	78	30	18		33%	42%	16%	10%		
40	寮生限定	寮生への質問です。寮生活において一番どれが当てはまりますか。 A:寮監の先生や、病気時の対応が丁寧だった B:食事がおいしかった C:住環境が快適だった D:入らなければよかった E:その他	132	66	18	32	16	47		37%	10%	18%	9%	26%

12	学習	一番頑張ったと思う教科はどれですか。次から選んでください。 A:国語 B:地歴公民 C:数学 D:理科 E:保健 F:芸術 G:英語 H:中国語 I:家庭 J:情報 K:農業 L:学校設定	A国語	B地公	C数学	D理科	E体育	F芸術	A国語	B地公	C数学	D理科	E体育	F芸術
			73	84	225	78	132	29	9%	10%	28%	10%	16%	0%
			G英語	H中国	I家庭	J情報	K農業	L学設	G英語	H中国	I家庭	J情報	K農業	L学設
13	学習	もっと努力が必要と思う教科はどれですか。次から選んでください。 A:国語 B:地歴公民 C:数学 D:理科 E:保健 F:芸術 G:英語 H:中国語 I:家庭 J:情報 K:農業 L:学校設定	108	6	14	2	37	11	13%	0.7%	2%	0%	5%	1.4%
			A国語	B地公	C数学	D理科	E体育	F芸術	A国語	B地公	C数学	D理科	E体育	F芸術
			133	63	181	177	17	4	17%	8%	23%	22%	2%	0%
			G英語	H中国	I家庭	J情報	K農業	L学設	G英語	H中国	I家庭	J情報	K農業	L学設
			174	3	17	17	7	5	22%	0%	2%	2%	0.9%	1%

2025年度 学校評価にかかわる、保護者向けアンケート (全学年保護者)

No.	内容	設 問 (個別に選択肢のない項目は、A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない)	回答数	人					%				
				A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
1	建学の精神	建学の精神である「三愛主義(神を愛し、人を愛し、土を愛す)」「健土健民(健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる)」の考え方が教育活動全体に組み込まれていた。	292	124	152	10	6		42%	52%	3%	2%	
2	宗教	他者を尊重し、「共に生きる」姿勢や「隣人愛」を大切にする指導が展開されていた。	292	102	163	20	7		35%	56%	7%	2%	
3	学習	教科・科目の目標に沿って、計画的な授業が行われ、学習方法、評価方法についてわかりやすく説明されていた。	292	96	163	31	2		33%	56%	11%	1%	
4	学習	生徒の興味・関心を高めるために、授業方法が工夫されていた。	292	97	167	24	4		33%	57%	8%	1%	
5	学習	学力向上に向けた取り組みが行われていた。	292	84	166	38	4		29%	57%	13%	1%	
6	学習	ChromebookをはじめとするICTを活用した授業等が積極的に行われていた。	292	117	156	18	1		40%	53%	6%	0%	
7	学習	生徒の家庭学習の習慣化に向けた取り組みが行われていた。	292	56	146	80	10		19%	50%	27%	3%	
8	生活	身だしなみやマナー指導等、規範意識を高めるための指導が、適切に行われていた。	291	116	148	19	8		40%	51%	7%	3%	
9	生活	交通安全、防犯、防災等の危機管理に対する指導が、適切に行われていた。	292	100	174	17	1		34%	60%	6%	0%	
10	生活	学校行事や生徒会活動は、生徒の主体的な活動と、豊かな人間性が育成されるものとなっていた。	292	134	144	11	3		46%	49%	4%	1%	
11	生活	いじめの未然防止や、問題発生時には適切な対応がされていた。	292	90	167	27	8		31%	57%	9%	3%	
12	コース	コースの目標や内容にふさわしい行事や授業科目が展開されていた。	291	138	132	19	2		47%	45%	7%	1%	
13	進路	生徒の進路意識を啓発し、将来の目標を明確にする指導が行われていた。	292	117	158	13	4		40%	54%	4%	1%	
14	進路	進路指導体制は、説明会や三者面談を通じて、保護者と連携を図った取り組みになっていた。	291	146	121	19	5		50%	41%	7%	2%	
15	進路	学校や担任等から酪農学園大学の教育内容について十分に紹介されていた。	292	87	160	42	3		30%	55%	14%	1%	
16	グローバル	国際交流や、世界に目を向ける教育が展開されていた。	292	78	152	52	10		27%	52%	18%	3%	
17	安全衛生	心身の健康や性に関する指導が積極的に行われていた。	292	60	168	55	9		21%	58%	19%	3%	
18	安全衛生	教室・実習場所などの学習環境は、健康で安全な学校生活を送るのにふさわしかった。	291	114	159	16	2		39%	54%	5%	1%	
19	安全衛生	怪我や急な病気の際、学校から保護者への連絡および医療機関との連携は適切に行われていた。	292	132	134	20	6		45%	46%	7%	2%	
20	教職員	教育活動に関する情報は、ホームページやClassiを通じて積極的に行われていた。	292	180	96	12	4		62%	33%	4%	1%	
21	教職員	本校の教員は、学校行事や部活動に対して親身になって関わってくれていた。	292	169	97	15	11		58%	33%	5%	4%	
22	教職員	本校の教員は、電話や相談等で学校を訪れた時など、適切な身だしなみで丁寧な対応がされていた。	292	198	89	3	2		68%	30%	1%	1%	
23	教職員	本校の事務職員は、電話や相談等で学校を訪れた時など、適切な身だしなみで、丁寧な対応がされていた。	292	196	92	4	0		67%	32%	1%	0%	
24	全体	4月からここまで、お子さんが一番成長したと思えるものはどれですか。 A 学習面 B生活面 C 精神面 D 部活動の競技力 E その他	290	55	48	124	43	20	19%	16%	42%	15%	7%
25	全体	4月からここまで、本校への満足度はどれですか。 A 十分満足 B おおむね満足 C やや不満 D とても不満	292	105	162	20	5		36%	55%	7%	6%	

2025年度 学校評価（自己評価） 学校関係者評価

No.	内容	設問 (選択肢A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:そう思わない 選択肢E:わからない・判断できない)	%				
			A	B	C	D	E
1	建学の精神	本校は、建学の精神である「三愛主義」「健土健民」の考え方が教育活動全体に組み込まれていると思う。	70%	30%	0%	0%	0%
2	学習	本校は、授業の改善に努め、学力向上に向けた取り組みが積極的に行われていると思う。	50%	40%	0%	0%	10%
3	学習	本校は、基礎・基本の定着と、生徒に寄り添った学習指導が展開されていると思う。	40%	50%	0%	0%	10%
4	学習	本校は、難関大学合格に向けて、ハイレベルな授業が行われていると思う。	20%	30%	10%	10%	30%
5	生徒指導	本校は、身だしなみやあいさつ、マナー等、日常の指導がしっかりされていると思う。	80%	20%	0%	0%	0%
6	生徒指導	本校は、学校行事や生徒会活動において、生徒の主体的な活動と、豊かな人間性が育成されるものとなっていると思う。	60%	30%	0%	0%	10%
7	生徒指導	本校は、いじめの未然防止や、問題発生時には適切な対応がされていると思う。	50%	40%	0%	0%	10%
8	コース	本校は、コースの目標や内容にふさわしい行事や授業科目が展開され特色が打ち出されていると思う。	70%	30%	0%	0%	0%
9	進路	本校は、生徒の進路意識を啓発し、将来の目標を明確にする指導が行われていると思う。	50%	40%	0%	0%	10%
10	進路	本校は、進路説明会や三者面談(担任・生徒・保護者)等を通じて、保護者と連携を図った取り組みをしていると思う。	80%	10%	10%	0%	0%
11	グローバル	本校は、国際交流や、世界に目を向ける教育が展開されていると思う。	30%	30%	30%	0%	10%
12	総務	本校は、安全で衛生的な学習・実習環境が整えられていると思う。	70%	30%	0%	0%	0%
13	広報入試	本校は、ホームページやFacebookやInstagram等の各種SNSを通じて積極的に情報発信がされていると思う。	70%	10%	10%	10%	0%
14	労務	本校は、教職員が学校行事や部活動に対して親身になって関わっていると思う。	70%	20%	0%	0%	10%
15	労務	本校は、教職員が適切な身だしなみで、丁寧な対応がされていると思う。	60%	40%	0%	0%	0%

## 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校に関する第三者評価

### 1. 建学の精神の浸透

貴校の教育の柱である「三愛主義」に基づいた取り組みやその成果については、生徒・保護者・教職員のいずれからも高い評価を得ている。

私立高校における学校運営において、建学の精神や教育理念の共有・浸透は極めて重要な要素であるが、本調査結果からは、特定の立場に偏ることなく、三者から一様に「理念が浸透している」と認識されている点を確認できる。これは、学校全体として一貫した教育活動が行われていることを示すものであり、貴校の大きな強みであると評価できる。

### 2. 学習への取り組み

学習への取り組みに関する評価については、生徒と保護者の間で一定の認識の差が見られた。生徒の約7割が家庭学習の実施時期を「テスト前～テスト期間」と回答しており、日常的な家庭学習の定着については課題があると捉えられる。一方で、保護者の約7割は「家庭学習の習慣化に向けた取り組みがなされている」と評価しており、学校側の指導や働きかけは一定程度評価されている状況である。

このことから、定期テストという年間の節目においては学習量を確保できている一方、平常時の学習習慣の形成については、さらなる指導や支援の工夫が求められると考えられる。

また、教職員の自己評価においては、D3ゾーン生徒ゼロを目指した基礎学力の向上、学び直しの支援、主体的に学ぶ生徒の育成について、約6割が「できた」と回答している。加えて、高校1・2年次に実施されている基礎力診断テストの結果から、現在の高校3年生および高校2年生において、各学年とも高校2年次秋段階で入学時と比較してD3ゾーンの生徒数が30～40名程度減少していることが確認できる。これらの定量的な指標から、低学力層の底上げについては一定の成果が上がっていると評価できる。

今後は、基礎学力の定着にとどまらず、さらなる学力向上に向けて、主体的に学ぶ力を育成する取り組みの充実が期待される。

なお、「主体的・対話的で深い学び」が重視されており、知識量の確保に加えて、生徒自身が学習を調整・管理する力が求められている近年の状況を踏まえると、日常的な家庭学習の習慣化は、今後の大学進学および社会的自立の双方において重要な課題である。

### 3. 酪農学園大学との連携について

酪農学園大学との連携や大学理解に関する項目においても、生徒と保護者の間で評価の乖離が見られた。酪農学園大学の施設や学類について「理解できた」と回答した生徒は約半数にとどまった一方、保護者では8割以上が「大学の紹介がなされていた」と評価している。

大学進学先の選択においては、生徒が自身の興味・関心のある学問分野や部活動、将来像を基に情報収集を行う傾向があるため、進路意識の段階によっては、大学附属校であっても酪農学園大学の情報を十

分に意識的に収集できていない生徒がいる可能性が考えられる。

一方で、教職員の評価を見ると、酪農学園大学との共同研究や高大一貫授業の推進、内容理解について、約4割が「不十分であった」と回答しており、この点は今後の学校運営における留意事項として捉える必要がある。

貴校が大学附属校であることは、他の私立高校と比較して大きな独自性であり、生徒募集の観点からも積極的に打ち出していきたい強みである。大学と常時連携可能な環境だからこそ実現できる学習体験を、より体系的に整理・発信することで、生徒の学びの充実につながる事が期待される。

大学附属校には進学の安心感に加え、高大接続を生かした探究的・専門的な学びが求められている。高校段階から大学の学問や研究に触れる機会を意図的に設計することは、附属校としての価値を一層高める要素となる。

#### 4. コース別の学校満足度と生徒発信による学校広報

各コースにおいて、多くの生徒が学校生活に対して高い満足度を示している点は、前向きに評価できる。一方で、さらなる満足度向上を目指すうえでは、「十分満足」と「おおむね満足」の回答割合の違いに着目することが重要である。

フードクリエイトコースのみ「おおむね満足」と回答する生徒の割合が高く、他コースでは「十分満足」の割合が高い結果となっている。この背景については、教育内容や学習環境、将来展望との結びつきなどの観点から分析を行い、フードクリエイトコースにおける満足度向上に向けた教育活動の検討が求められる。

また、学校への満足度が高い一方で、「後輩や友人に勧める機会がなかった」と回答した生徒が一定数いる点にも着目したい。この結果は、生徒自身が学校の魅力を言語化し、発信する機会が十分でない可能性を示唆しており、今後の広報活動を検討する上での重要な示唆となる。

#### 5. 学校広報活動について

ホームページやSNSを活用した広報活動については、コース別に差が見られる結果となった。特に総合進学コースについては、さらなる情報発信の充実が期待される。

特進 GROW-UP コースでは、昨年度と比較して発信回数が増加していることから、どのような内容や形式の発信が行われていたのかを整理し、その成功事例を総合進学コースの広報に生かすことが有効であると考えられる。

貴校において総合進学コースは定員規模が最も大きいコースであり、私学無償化が進む現在の教育環境においては、生徒募集の成否を左右する重要な要素となる。他コースが札幌市内の私立高校と比較しても高い独自性を有している中で、総合進学コースについても、学内外における位置付けを明確にし、札幌市内の私立高校の総合進学コースの中での差別化を意識した発信を行うことが、今後の学校広報において重要であると考えられる。